

1936

交流電源リモートコントローラ

取扱説明書

(株) 計測技術研究所

目次

保証について	2
第 1 章：紹介	3
1. 1 安全対策	3
1. 2 安全	3
1.2.1 保守点検	3
1.2.2 作業環境	3
1. 3 保存と輸送	4
1. 4 現場セットアップ	4
第 2 章：仕様	5
第 3 章：フロントパネルおよびボトムパネル	6
3. 1 フロントパネル	6
3. 2 ボトムパネル	7
第 4 章：操作説明	8
4. 1 電源投入時の状態	8
4. 2 ファンクションキーの説明	8
4.2.1. [EDIT]キー	8
4.2.2. [F]キー	8
4.2.3. [V]キー	9
4.2.4. [A]キー	9
4.2.5. [RANGE]キー	9
4.2.6. [SYSTEM]キー	9
4.2.7. [M1]/[M2]/[M3]キー	10
4.2.8. [REMOTE]キー	10
4.2.9. [PHASE]キー	10
4.2.10. [RESULT]キー	10
4.2.11. [LOCK]キー	11
4. 3. モデル毎の表示内容	12

保証について

このたびは、弊社製品をご購入頂きありがとうございます。
お買い上げの製品は本マニュアルに記載の仕様を満たしていることを保証されています。
また本器は納入の日から1年間製品の材質や仕上がりに関し問題が無いことを保証致します。またその期間中に製品に問題があった場合には、本製品の不良部品もしくは製品の交換を受けることができます。
ただし以下の場合のいずれかに起因する場合には保証の対象外となります。

- 通常でない操作、故意による不正行為、不可抗力（地震、洪水、暴動、戦争等）
- 事前の書面による承認を得ていない改造、改変、修理又は物的な損傷。
- アースグラウンドを取らないで使用した場合や安全機構をバイパスして使用した場合
- 事前の書面による指示により指定された部品以外の部品を使用した場合。

修理品の返送方法:

修理品を返送される場合、購入時のオリジナルの Kartonボックスに梱包して下さい。オリジナルの Kartonボックスが使用できない場合は、製品を乾燥したビニール袋に包み、ビニールテープ等で封印し頑丈な段ボール箱又は木箱に入れ、周囲に十分な分量のクッション材を詰め込んで下さい。

本マニュアル記載内容から示唆される本製品の商品適格性、用途、に適合することは保証致しません。またそれに起因する責任、賠償責任は負いません。

第1章:紹介

1936 交流電源リモートコントローラの使用前注意について記述しています。

1. 1 安全対策



製品がアースグラウンド接続要求がある場所にこのシンボルがあります。

WARNING

人体に危害を及ぼす可能性がある手順、実行や状態について喚起します。

CAUTION

装置の破壊やデータの消失を及ぼす可能性がある手順、実行や状態について喚起します。

1. 2 安全

製品を操作する前に製品や関連する書類の安全に関するマークや指示を良く熟知して下さい。

WARNING

交流電源は、人体に害を及ぼし、致命的な感電の原因となる電圧と電流を発生します。偶発的な事故による死傷を防ぐ為、試験装置を扱ったり、使用する時は、これらの安全確認手順を必ず遵守して下さい。

1.2.1 保守点検

お客様の保守

本試験器のカバーは絶対に取り外さないで下さい。お客様が修理・交換の出来ない部品が組み込まれています。定期点検・内部の清掃は必要ありません。クリーニング液・化学薬品（液）は使用しないで下さい。使用しますと、プラスチック部品、表示文字が溶けたり、冷却用孔から液体が入り込み内部の部品を傷つけたり、破壊する事があります。本取扱説明書に示される図や表は参照目的に提供するものです。、高圧ケーブル、高圧部品の交換は、必ず弊社または代理店・販売店にお尋ね下さい。

お客様による改造

お客様による本試験器の変更及び改造は、保証の対象外になります。弊社の指定業者・販社以外による変更については、事故の発生、機械の損傷についての一切の責任は負いません。安全性を損なう恐れのある変更や改造が認められた場合は弊社にて、当該製品を有償にて元の状態に戻しますのでご了承下さい。

1.2.2 作業環境

設置場所

作業員以外の者が頻繁に通行する場所から離して設置して下さい。交流電源本体からリモートボックスの間は、ケーブルにて接続されますので、作業通路を通す場合は適当な保護を行うか配線ルートをご検討ください。

入力電圧の確認

本リモートボックスは、別途入力電圧を用意する必要はありません。交流電源本体よりケーブルを介して供給されます。

使用時の周囲環境条件

温度 : 0℃ ～ 40℃
湿度 : 20% ～ 80%RH
高度 : 海拔 2000 メートル以下

注意) 交流電源本体と同等環境でご使用ください。

1. 3 保存と輸送

保存時や輸送時の周囲環境

リモートボックスは、下記の条件下で保存又は輸送して下さい。

周囲温度 : -40℃ ～ 55℃
高度 : 7620 メートル以下

急激な温度変化は避けて下さい。急激に温度が変化した場合、機体内部に結露が発生する場合があります。

梱包方法

オリジナル梱包材料

オリジナル梱包材料は保管し、機器をメンテナンスの為に輸送する場合にご使用下さい。ご送付される場合、まず先に弊社または代理店にご連絡下さい。修理の場合、故障の状態と原因を明記の上、必ず全ての付属品を一緒にお送り下さい。又、必要に応じて交流電源本体も必要となる場合があります。

その他の梱包方法

オリジナル梱包材料が無い場合、下記の説明に沿って梱包して下さい。まずビニール袋で機械を包装します。機器の周りに、厚さは約 70～100mm (3 ～ 4 インチ) の防振クッション材を充填し、機器のパネルは必ず厚いボール紙で保護して下さい。輸送に十分に気をつけるよう、明記して下さい。

1. 4 現場セットアップ

リモートボックスのセットアップには、交流電源のファームウェアをバージョンアップと RS-422 インターフェースを交流電源に実装を行います。

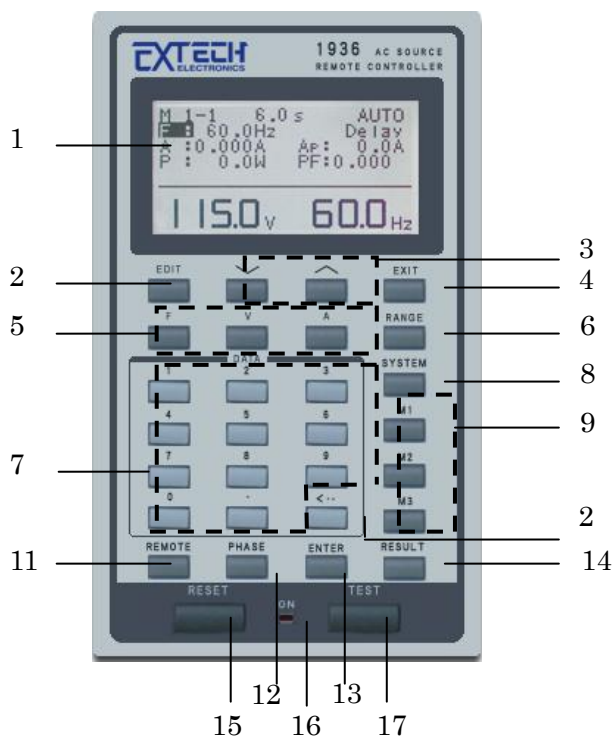
注意) リモートボックスのセットアップの際、交流電源本体は工場出荷時の状態に初期化を行います。システムパラメータ、テストパラメータの再設定が必要になります。

第2章:仕様

仕様	
型名	1936
表示 LCD	128 * 64 グラフィック LCD
操作キー	Up/Down キー及びテンキー
キーロック	ON/OFF
ブザー音調整	ON/OFF
対象モデル	6600, 6700, 6500, 6300, 6500A, 6300A シリーズ
一般仕様	
使用環境	0～40℃, 20～80%RH
寸法	100mm(W) x 170mm(H) x 36.4mm(D)
重量	545 g
付属品	
RS422 Card	x1
RS422 Cable (20M)	x1

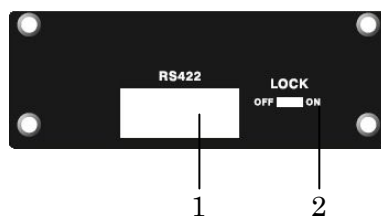
第3章:フロントパネルおよびボトムパネル

3.1 フロントパネル



①	LCD表示	240×64グラフィックLCDです。試験の設定または結果を表示します。
②	[EDIT]キー	画面の選択及びパラメータ変更で使用します。(パラメータは交流電源のモデルごとに異なります。)
③	[V]/[A]キー	パラメータメニューで機能選択する際、画面をスクロール移動で使用します。
④	[EXIT]キー	パラメータ編集を抜ける場合と元の画面に戻る場合に使用します。
⑤	[F]/[V]/[A]キー	周波数、電圧、電流の値を設定する際に使用します。
⑥	[RANGE]キー	電圧レンジ“AUTO”/”HIGH”レンジを切り替えます。
⑦	テンキー	数値パラメータの入力で使用します。
⑧	[SYSTEM]キー	システムパラメータの設定への移行または抜ける時に使用します。(パラメータは交流電源のモデルごとに異なります。)
⑨	[M1]/[M2]/[M3]キー	メモリを呼び出すときに使用します。
⑩	[←]キー	削除キーです。入力ミスや入力を変更したい時に使用します。最後に入力したものから削除します。
⑪	[REMOTE]キー	リモートコントロールが可能な状態に設定します。
⑫	[PHASE]キー	R/S/T相およびΣの表示を選択するために使用します。(6300/6300Aシリーズのみ有効)
⑬	[ENTER]キー	パラメータ入力を確定するときに使用します。パラメータ設定画面で他のパラメータの反転エリアへ移動するときにも使用します。
⑭	[RESULT]キー	試験結果を表示するときに使用します。
⑮	[RESET]キー	出力を“OFF”または異常操作によるアラーム停止のとき使用します。
⑯	“ON”表示	LED表示が点灯時は、出力電圧が“ON”の状態です。
⑰	[TEST]キー	出力電圧を“ON”にします。

3. 2 ボトムパネル



①	RS422コネクタ	リモートケーブルを接続します。
②	[LOCK]キー	フロントパネルの全てのキーの操作を無効にし、プログラム操作モードから抜けます。

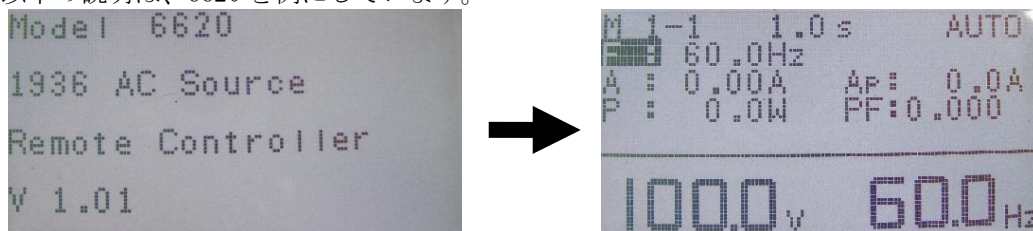
第4章:操作説明

交流電源で本リモートコントロールを使用するためには、最初に交流電源の電源を投入する前に本リモートコントロールを接続してください。

4.1 電源投入時の状態

交流電源へリモートコントローラが接続されていると、何も設定しないで自動的にリモートコントローラの電源が投入されます。

以下の説明は、6620 を例にしています。

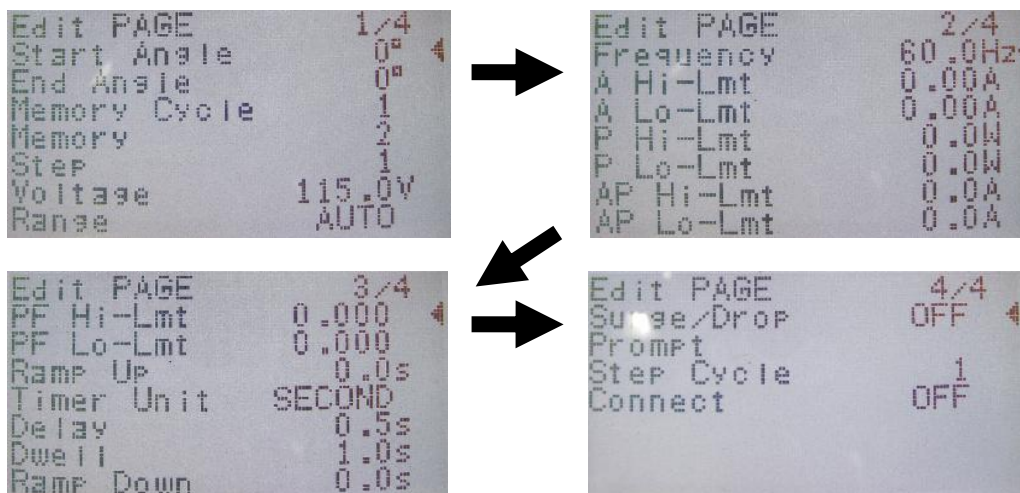


4.2 ファンクションキーの説明

4.2.1. [EDIT]キー

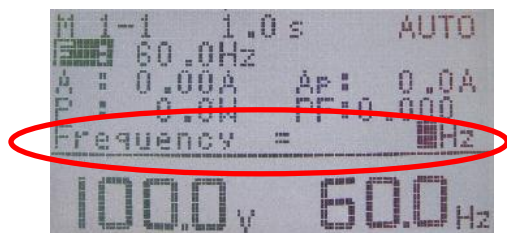
(パラメータは製品カテゴリ毎に異なります)

表示が点灯している状態で[EDIT]キーを押すとパラメータ設定の表示に切り替わります。設定するパラメータを選択する為、[Δ]/[▽]キーを使用して下さい。



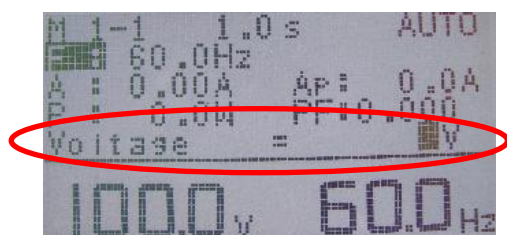
4.2.2. [F]キー

表示が点灯している状態で[F]キーを押すと周波数設定の表示に切り替わります。希望する周波数の値を入力して[ENTER]キーを押して下さい。周波数が切り替わります。又は、周波数設定を抜ける為に[EXIT]キーを押して下さい。



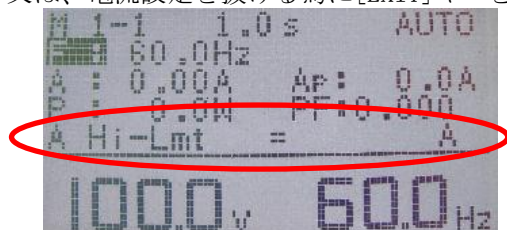
4.2.3. [V]キー

表示が点灯している状態で[V]キーを押すと電圧設定の表示に切り替わります。
希望する電圧の値を入力して[ENTER]キーを押して下さい。電圧が切り替わります。
又は、電圧設定を抜ける為に[EXIT]キーを押して下さい。



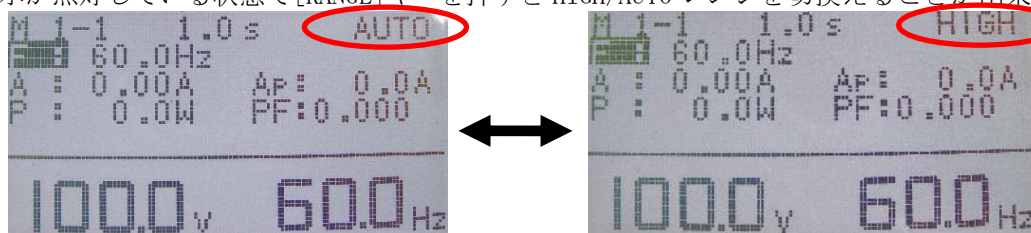
4.2.4. [A]キー

表示が点灯している状態で[A]キーを押すと電流設定の表示に切り替わります。
希望する電流の値を入力して[ENTER]キーを押して下さい。電流が切り替わります。
又は、電流設定を抜ける為に[EXIT]キーを押して下さい。



4.2.5. [RANGE]キー

表示が点灯している状態で[RANGE]キーを押すと HIGH/AUTO レンジを切換えることができます。



4.2.6. [SYSTEM]キー

(パラメータは製品カテゴリ毎に異なります)

表示が点灯している状態で[SYSTEM]キーを押すとシステム設定の表示に切り替わります。
設定するパラメータを選択する為、[^]/[V]キーを使用して下さい。

```

System PAGE      1/2
Auto Run        PROGRAM
Single Step      OFF
Alarm           ON
Contrast         5
Power UP         OFF
Loop Cycle       1
Result          LAST
  
```



```

System PAGE      2/2
OC Fold         OFF
Lock            OFF
Mem Lock        ON
  
```

4.2.7. [M1]/[M2]/[M3]キー

表示が点灯している状態で[M1]/ [M2]/ [M3]キーを押すとメモリの呼出しが出来ます。
1度[MEMORY]キーが押されると、LCD画面の左上の表示が切り替わります。

```

M2-1 1.0s AUTO
F : 60.0Hz Pass
A : 0.000A Ap: 0.0A
P : 0.0W PF: 0.000

114.8V 60.0Hz
  
```

4.2.8. [REMOTE]キー

以下のメッセージが表示された場合、リモートコントローラ 1936 の[REMOTE]キーを押して下さい。

```

Disconnect

Please press REMOTE
key to reconnect.
  
```

4.2.9. [PHASE]キー

[A]キーを押すとLCD画面の相の表示が“R” /” S” /” T” / “Σ” に切り替わります。(6300 と 6300A のみ有効です)

```

M49 3#4W R AUTO
F : 50.0Hz A : 0.0A Abort
P : 0.0W PF: 0.0

100.0V 0.0W
  
```



```

M49 3#4W T AUTO
F : 50.0Hz A : 0.0A Abort
P : 0.0W PF: 0.0

100.0V 0.0W
  
```

4.2.10. [RESULT]キー

表示が点灯している状態で[RESULT]キーを押すと試験結果を見ることが出来ます。又、データが複数あったら、[H]/ [V]キーを使用して他のデータを選択して下さい。

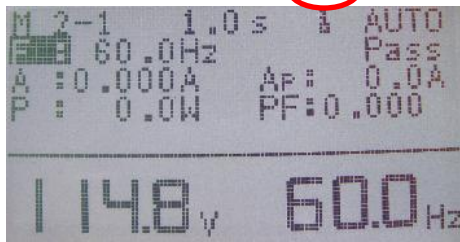
```

Pass

V : 114.8V
F : 60.0Hz
P : 0.0W
A : 0.000A
Ap: 0.0A
  
```

4.2.11. [LOCK]キー

[LOCK]キーを“ON”に設定して下さい。ファンクションキーは[Test]キーと[RESET]キーを除いて操作出来ません。そして、LCD表示には、以下の赤丸内のような鍵マークが表示されます。



4. 3. モデル毎の表示内容

(1) 6600/6700 の表示

M49	AUTO
F : 50.0Hz	Abort
A : 0.0A	0.0A
P : 0.0W	PF: 0.0
100.0 V	0.0 W

(2) 6300/6300A の表示

M49	AUTO
3 ϕ 4W R	Abort
F : 50.0Hz	A : 0.0A
P : 0.0W	PF: 0.0
100.0 V	0.0 W

(3) 6500 の表示

M49	AUTO
1 ϕ 2W	Abort
F : 50.0Hz	A : 0.0A
P : 0.0W	PF: 0.0
100.0 V	0.0 W

交流電源リモートコントローラ 1936 取扱説明書

M-2265
Rev1.00

発行日 2010 年 12 月 28 日

株式会社 計測技術研究所
住所：〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-12-2
URL <http://www.keisoku.co.jp/>

本製品についてのお問い合わせにつきましては以下にご連絡ください。

営業的なお問い合わせ
TEL: 045-948-0211
FAX: 045-948-0221

E-mail: PWsales@hq.keisoku.co.jp

技術的なお問い合わせ
TEL: 045-948-0214
FAX: 045-948-0224

E-mail: PW-support@hq.keisoku.co.jp